

## 臨床検査基準範囲の変更履歴

変更日	項目	新	旧	備考
2024/5/17	UGT1A1*28.*6遺伝子多型解析	*6, *28ともに多型を持つない ワイルドタイプ	設定なし	
2024/7/9	PT-INR	0.9~1.15	0.92~1.19	JCOG共用基準範囲より引用とする運用に変更のため
	PT-sec	9.9~11.8秒	9.6~12.3秒	PT試薬添付文書より引用とする運用に変更のため
	好中球数	1500~7500/ $\mu$ L		
	リンパ球数	1000~4000/ $\mu$ L		
	単球数	<800/ $\mu$ L		臨床検査法提要より引用とする運用に変更のため
	好酸球数	100~500/ $\mu$ L		
2024/10/4	好塩基球数	<50/ $\mu$ L		
	経食道超音波	削除		検査部として実施していないため
	腹部超音波	<胆管> 肝内胆管の径が4mm以上、肝外胆管(左右肝管を含む)径が8mm以上を拡張とする 胆囊摘出後や胃切除後、高齢者では肝外胆管径が拡張することがある	<胆管> 左右肝管の径が4mm以上、総胆管径が8mm以上を拡張とする 胆囊摘出後や胃切除後、高齢者では肝外胆管径が拡張することがある	
		<脾臓> 最大径で10cm≤を腫大とする	<脾臓> 体格や脾臓の形態、下記の計測法を参考にし、腫大を評価する 1) 千葉式:脾門部から下極端までの距離(a)cm × 脾門部での厚み(b)cm ≥ 20cm <sup>2</sup> 2) 古賀式:後上線と前下面の距離(c)cm × 脾門部を起点に直交する径(b)cm × 検数(正常0.8、肝炎0.9)を乗じた値 ≥ 30cm <sup>2</sup>	
		<胰臓> サイズの目安は頭部30mm、体部20mm、尾部25mm以下	<胰臓> i) サイズ(横断走査) 脾頭部:3cm以下、脾体部:2cm以下 全体のバランスに注意し、個人差を考慮する	
		<膀胱> 膀胱径は3mm未満 膀胱は加齢とともに拡張する傾向があり、経時的な変化もある	<膀胱> 膀胱径は3mm未満 軽度の拡張は非特異的な場合もあるので注意する	
		<腎臓> 長径は8~12cm	<腎臓> 長径は約10~12cm、短径が5~6cm 通常は右腎に比べ左腎の方が少しきい	
	甲状腺超音波	<健常成人:甲状腺> 横径:1~2cm、総径:4~5cm、厚み:1~2cm <健常成人:副甲状腺> 長径3mm程度	<健常成人:甲状腺> 横径:1~2cm、総径:4~5cm、厚み:1~2cm <健常成人:副甲状腺> 横径:2~4mm、総径:4~6mm、厚み:1mm	
2024.12.25	尿中グルコース(隨時尿)	2~20mg/dL	設定なし	
	尿中グルコース(24時間尿)	30~130mg/day 0.03~0.13g/day	設定なし	
2025/1/27	D-BIL		0.08~0.28mg/dL	院内測定中止のため
	C-BIL	0.20mg/dL以下		新規採用のため追加
2025/4/1	LAP (ロイシンアミノペプチダーゼ)		38~75 U/L	院内測定中止
	精液量	1.4mL 以上	2.0mL 以上	
	pH(精液検査)	設定なし	7.2 以上	
	精子濃度	16 × 10 <sup>6</sup> /mL 以上	20 × 10 <sup>6</sup> /mL 以上	
	精子運動率	42% 以上	50% 以上	
2025/7/9	精子奇形率	96% 未満	設定なし	
	(1→3)β-D-グルカン	11pg/mL未満	20 pg/mLを超えるもの: 深在性真菌感染症の 治療法の選択対象 10~20 pg/mL:経過観察 10 pg/mL以下:健常人の値	測定機器変更のため
2026/2/2	好中球数	1800~7500/ $\mu$ L	1500~7500/ $\mu$ L	臨床検査法提要が改版されたため
	好塩基球数	<200/ $\mu$ L	<50/ $\mu$ L	
	PT-sec	10.2~12.7秒	9.9~11.8秒	デイド イノビン参考基準範囲より引用とする運用に変更のため